



2021 年度
第 28 号

体育市民連帯 ニュースレター

体育市民連帯論評

性平等で悩んだ東京オリンピック...
嘲笑トウースと性偏向オリンピック報道

1
スポーツ精神の品格は
金よりも重い
オリンピック精神と
人権の関係



2
オリンピック精神



3
成績より「闘志」
に拍手...
変化する韓国スポーツ



4
「アーチェリーでなくとも
多いね」...
現代車グループ、スポーツ
の発展の「隠れた助力者」

5
金ヨンギョンから
ジ・ソヨンまで...
スポーツの勢力図を
変えた女性たちの話

6
「マナーが人を作る」
東京オリンピック飾った
スポーツ精神

7
たった2人...
女性アナウンサー多く
ても「スポーツキャス
ター」いない理由

大韓民国スポーツの

根本的变化を

皆さんと共に

作って行きたいです

体育市民連帯と共に

していただけますか？



체육市民連帶論評**性平等で悩んだ東京オリンピック…
嘲笑トウースと性偏向オリンピック報道**

COVID19 パンデミック状況の中で国際オリンピック委員会（IOC）と日本政府の開催意志で開催された Tokyo 2020 Olympic 日程が終わった。

オリンピックはスポーツ文化遺産であり全世界の祭典である。しかし、安全に最優先をおくべき国際オリンピック委員会（IOC）は多くの議論の中で開催を進めながら今回のオリンピックは政治的な道具の産物であることを示した。国際オリンピック委員会（IOC）のこれらの決定は重い歴史の結果として残るだろう。Tokyo 2020 Olympic 参加選手の試合は社会的パニック状態である国民を慰めた。国民の共感を引き出すために選手たちの活躍を洞察して分析し中継したメディアはオリンピックの地位を高めるために大きな役割を果たしている。そしてメディアから出る発言は国民に広く知られ注目を集めた。

また、国際オリンピック委員会（IOC）と東京オリンピック委員会は「男女平等の価値と脈を同じく」するために開会式では男性と女性の比率を1：1にし、宣誓者を3人から6人に拡大した。

男女平等オリンピックを目指して今回のオリンピックでドイツ女子体操代表選手たちのユニフォームは女性アスリートたちの性偏向表現への対抗として新鮮な視線を集めた。

このとき、運動種目と競技結果による状況を報道した国内メディアは「完全に水を浴びせるね。冷水を浴びせる」、「ありがとうマリン」、「美男」、「氷の女王」、「キツネみたいだ」、「混血ラグビーの伝道師」などの差別的嘲笑トウース字幕と性偏向的な修飾語表現は不適切であるという世論の批判を受けた。スポーツ分野の人権侵害が社会問題として多くの問題点と対策が出ている時に、マスコミ報道の問題点を指摘しておかないわけにいかない。

オリンピック憲章に示されたオリンピック理念の基本原則の「4. スポーツ活動は人間の権利である。」と明示している。国家人権委員会のスポーツ人権憲章の「第1章スポーツは人権である」と言及している。これらの明示にもかかわらず最近のマスコミ報道の過程で個人の人格権の侵害、無意識または固定観念や偏見などによる反人権的または差別的な報道が飛び交っている。

オリンピックに参加した選手たちは汗と情熱でつらい訓練に耐え、最善を尽くす試合を通じて成熟した生き方をし、尊重を受けることを願っている。メディアは彼らの努力に感動し、スポーツの普遍的価値、文化の多様性を尊重、人権とジェンダーの平等の認識向上と深い省察に努力を傾け、報道の責任ある役割を忘れてはならない。

2021. 08. 09

체육市民連帶

01 ソウル特別市体育会 ブログ 2021.07.30

スポーツ精神の品格は金よりも重い オリンピック精神と人権の関係

コロナ 19 で 1 年間延期された東京オリンピックがいよいよ開催された。

今回の東京オリンピックが試合結果だけでなく、オリンピック精神の選手たちの人権についても考えてみるきっかけになってほしい。オリンピック精神は、すべての選手の人権を尊重することから出発するからである。

文・ホン・ドクギ



近代オリンピックの歴史：国家主義と資本主義の手段

近代オリンピックは、古代アテネオリンピック精神であるアマチュアリズムをもとに世界平和を求めて出発した。しかし、歴代のオリンピックは多くの場合、大国が自分の地位を知らせる国家主義と民族主義の展示場になってきた。これは国家や民族を単位とした集団の信念を最高の価値と指向し、個人の安全と幸福は犠牲になっても良いという観点である。

代表的な例が 1936 年のベルリン五輪だ。当時ヒトラーは、オリンピックを通じてナチズムを知らせ、第二次世界大戦を準備した。1964 年の東京オリンピックで日本は、自分自身を「戦犯国家」ではない「敗戦国」と広報した。

1980 年モスクワ五輪と 1984 年ロサンゼルスオリンピックは当時の西欧と東欧諸国の体制対決の場であった。また、2008 年の北京オリンピックでは、中国は自分が世界の中心という中華主義を表わした。

近代オリンピックの歴史の中で過度の商業化もまた別の問題だ。過度の商業化と過度な競争は人気種目と不人気種目の二極化と選手の薬の服用など、オリンピック精神を毀損したりしている。

IOC (International Olympic Committee、国際オリンピック委員会) は対外的にスポーツを通じた平和と人権という名分を掲げるが、オリンピック開催の裏側では莫大な利益創出がある。

オリンピックの 5 大収入源は放送中継権、TOP プログラム (The Olympic Partner Program)、ライセンスビジネス、チケット販売、スポンサーシップで、その額はおびただしい。たとえば、米 NBC 放送局は、2014-2020 冬・夏季五輪の国内独占中継費用として約 43 億 8,200 万ドル (韓国ウォンで 2021 年 7 月現在、約 5 兆 568 億ウォン) を支払った。コロナ状況の不確実性にもかかわらず IOC から東京オリンピックを中止できない理由だ。

オリンピック精神の本質

近代オリンピックの歴史を繰り返さないためには、オリンピック精神の本質を振り返る必要がある。

IOC で制定されたオリンピック憲章は、以下の通りである。

第 1 条オリンピズムの目的は、「スポーツを通じて人間の尊厳を保持し、平和な社会を促進し、調和のとれた人類の発展を遂げること」である。また、4 条「すべての人間が差別なく、オリンピックの精神の中でスポーツ活動をできなければならない」、5 条「オリンピック運動はいかなる形の差別も許さない」、6 条「オリンピックゲームは個人やチームの競争であって国家間の競争ではない」、27 条「IOC はスポーツで差別待遇と暴力行為に抵抗する措置をとる」、最後に 57 条は「IOC とオリンピック大会組織委員会は、どの

ような国別のランキングも作成してはならない」と明示している。以上のように、オリンピック憲章はメダル至上主義を警戒して差別を禁止するなど、全般にわたって人権を強調している。

人権に配慮したオリンピックに向けて

人権に配慮したオリンピックはメダル順位が国力やスポーツの発展を評価する基準となる現実とは距離が遠い。韓国が4回連続オリンピック総合順位10位を達成した裏側では国家代表選手たちは人間として享受すべき最低限の基本的権利を保障されず、長期間の深刻な人権侵害を経験してきた冷酷な現実がある。

世界的な法哲学者マーサ・ヌスバウム (Martha C. Nussbaum) は、一国の発展度合いを評価する指標がGDP (Gross domestic product、国内総生産) ではなく人間の幸せになることを主張した。韓国はGDPの順では世界9位だが、自殺率、高齢者貧困率、労働災害死亡率など、OECD加盟国の中で1位の不名誉な地位となっている。高いGDPにもかかわらず全世界のどの国よりも競争が激しく幸福指数が低い理由だ。韓国のスポーツ分野も量的成長ではなく、質的な成熟に注目しなければならない。

どんなオリンピック金メダルの価値も選手の命よりも大切ではない。オリンピックの金メダルでスポーツ強国を自任する時代は終わった。

文を書いたホン・ドクギはスポーツ教育学専攻で、米国ノーザン・アイオワ大学教授を経て、現在は慶尚大学教授として在職中だ。スポーツ革新委員会は体育市民連帯、スポーツ人権研究所などで活動し、韓国スポーツの変化のために努力している。マラソンが好きで、スポーツ・教育・人権について関心がある。

※この記事はソウル特別市体育会が発行する月刊ソウルスポーツ 2021年8月号に掲載された記事です。

出典：<https://m.blog.naver.com/seoulsportal/222450659541>

02 京郷新聞 文化と生活 ボク・ギル フリーランス・ライター 2021.08.05 オリンピック精神



オリンピックのバレーボール韓日戦が行われた夜に私は外にいた。携帯電話でポータルサイトに入って試合結果を確認した。勝ったね。タクシーに乗ってすぐ友達から電話が来た。「見た？」めいっばい上気した友人の最初の一言を聞くやいなや、私はマスクの中で口元をびくびくさせて笑った。「見てない。勝ったの？勝ったのなら良かった」元気のない私の答えが申し訳なかった。

接戦の末、5セット。朴チョンアの巧妙なブロックと呉ジョンのすさまじいディギング（訳注：ディグ、スパイクレシーブ）を生き生きと中継していて友人が息切れしていた。12対14マッチポイント、14対14ジュース、15対14逆転、再びマッチポイント。連続4得点の劇的な勝利。「この試合を見逃した事をずっと後悔するでしょ？必ずもう一度見て！」通話が一方的に終わった。今、私がどんなに疲れているのか、韓日戦ほどにダイナミックだった今日一日を言い並べる番だったのに。タクシーから降りてまっすぐコンビニに行った。窓側の席に座ってビタミン飲料のボトルを飲んで疲労が解けた。すると努めてそっぽを向いていた漠然とした気持ちが一度に押し寄せてきた。その日は仕事をやめたいという思いをした日であったと同時に、完全に忘れていた借金の存在を知った日だった。仕事をするために金を借り、再びその借金を返済するために金を借りることはこのように繰り返される。人なら当然甘受して生きるこの束縛がその日、私を激しく打ちのめした。

「次のパリ（オリンピック）では1次から1等の重さを挙げて必ず勝ちます」 残念ながらメダルを逃した重量挙げ代表の金スジョン選手のインタビューを見て泣きそうになった。歯を食いしばって言うあの「負けん気」とは何なのか、私は知っている。自分を育てることは無条件により多くの事をより完全にこなすことしかないと考えていた時があった。体力の次は精神力という概念があった、その魔法のような言葉は頻繁に出張と徹夜までやすやすともちこたえさせてくれた。

「わかりました。」 「私がします。」 「申し訳ありません。」 私の携帯電話で最も多く使用された言葉だ。「オートコンプリート機能」に保存されそうなほど、うんざりするほど吐いた言葉は、全身に広がる炎症となった。眼科に行き、皮膚科に行き、内科に行った。まぶたには眼軟膏を塗って、体にステロイドローションを塗る。胃が痛むと胃腸薬を飲み、ご飯を食べては消化剤を飲む。頭痛の症状が出るたびに買って置いた錠剤が食器棚にいっぱいある。私に表れる症状はほとんど体に異常があることを知らせる危険信号だから、必ず検診を受けて根本的な原因を見つける必要がある。医師の 심각한忠告も空しく積もるばかりだった。

「私は何か一つやり遂げる、という無駄な考えを捨てなければならない。」男子アーチェリー団体戦決勝でギ・ボベ選手の解説を聞いて昔を思い出した。入社して1年が少し過ぎたとき、私はよくわからない部門の仕事を一人で解決しようとしてシステムをフォーマットしてしまう大事故を起こした。トイレで泣きじゃくる私をなだめに上司が近づいてきた。責任感の大きさを事前に定めることが本当に重要なことだと。自分の手に負えない責任感ではなく負担であり、それは、最終的に皆を傷つけることだと。私の肩を叩くその手が恐ろしく、優しかった。

シモン・バイルス（訳注：リオ五輪で4冠を達成した米女子体操選手。東京五輪で団体決勝を途中棄権した）の「私たちは自分で自分の心と体を守らなければならない」という言葉と金ヨンギョン（訳注：東京五輪でバレーボール女子チーム主将、世界7位ドミニカ戦で大逆転したときの言葉）の「してみよう！してみよう！後悔しない！」が共存する今回の五輪は人生を一つの態度で一貫することができないことを気付かせる。世界最高の選手たちが最大の大会で見せた素晴らしい瞬間によって、私は息を整えて今私が耐えることができる重さを思い計ってみる。助けを求めるメッセージに「申し訳ありませんが日程が忙しくて難しいです」という返信を送った。初めてしてみた拒絶に胸がドキドキだ。「大丈夫です。今度、夕食食べましょう！」 余裕ができれば私が夕食をご馳走する、と確約した。2021年に新たに定義された「オリンピック精神」。私をこのように鼓舞した。

出典：

https://m.khan.co.kr/view.html?art_id=202108050300125&fbclid=IwAR10XTimFUrWJm7KTeZnfLJRzPmmUw6Gk-JEjLTn87LfGrrLMYFzRH4UYWs#c2b

03 国民日報 2021.08.09

成績より「闘志」に拍手... 変化する韓国スポーツ

オリンピックの舞台での成績はそれほど重要ではなかった。長年血と汗を流しながら準備した選手たちは、全世界スポーツ人の祭典と一緒に楽しんで挑戦すること自体に意味を置いた。選手たちの挑戦を眺める国民の視線も大きな違いはなかった。自分の限界を乗り越えて最後まで闘志を見せた選手たちには賛辞と拍手を送った。ただしオリンピックに臨む態度について議論になった者には冷たい非難が殺到した。

2020 東京オリンピックが 8 日に幕を下ろした。韓国は金メダル 6 個銀メダル 4 個、銅メダル 10 個を獲得し、総合順位 16 位で大会を終えた。今回の大会では、ひととき 4 位に上がった韓国選手やチームが多かった。12 種目で感動を与えてくれた 4 位が出た。



メダル圏進入には失敗したが、選手たちの闘志と情熱に国民は熱狂した。女子バレーボール代表チームが代表的である。韓国女子バレーボールは大会最終日に銅メダル決定戦に敗北して 4 位が確定した。しかし、最後のオリンピック出場となることを知らせていた「主将」金ヨンギョンを中心に固く団結したチームに励ましと慰めを惜しまなかった。「後悔しないで最後までやろう」と言った金ヨンギョンの呼びかけは代表チームの選手だけでなく、これを眺める国民にも一つの響きになって帰ってきた。

劣悪な環境の中での挑戦を続けてきた不人気種目の選手たちにも拍手が注がれた。男子走り高跳びのウ・サンヒョクは韓国新記録と一緒に 4 位に上がった。ダイビングのウ・ハラムも男子飛板飛び込み 3m で 4 位に上がったが、不毛の地で新しい歴史を開拓したという評価が後に続いた。重量挙げ女子 87 kg 超級と男子 67 kg 級 4 位に上がった李ソンミとハン・ミョンモクも「ポストチャン・ミラン（訳注：北京五輪で女子重量挙げ金メダリスト）時代」を開くアスリートとして注目された。

濃い友情を見せた選手たちも大きな感動を残した。近代 5 種のジョン・ジンファは銅メダルを獲得したジョン・ウンテに続いてフィニッシュラインを通過した後、心から祝福する姿に視線を集めた。バドミントン女子ダブルスの李ソヒ - シン・スンチャン組は金ソヨン - ゴン・ヒョン組に負けて 4 位になったが、最後まで美しい競り合いを見せてくれた。

アーチェリー、フェンシングなど、オリンピックの人気種目でも成績より選手たちの態度がより浮き彫りになった。高校生弓使いの金ジェドクは「ファイト」という叫びと一緒に披露した闘志に大きな声援を受けた。アーチェリー 3 冠王の安山も外敵に揺らぐことなく、落ち着いたプレーで注目を浴びた。フェンシング男子サーブル代表チームは 4 人の選手が粘りあるチームワークで生み出した金なので、より一層光を放った。

敗者の品格も輝いた。女子テコンドー銀メダリストの李ダビンは相手に親指を立てて褒め称える姿で深い印象を残した。男子柔道の趙グハムは決勝で惜しくも敗れたが、相手選手の腕をさっと持ち上げて勝利を祝った。

国民の目に物足りなさを残した場面もあった。サッカー代表チームの李ドンギョンは試合の敗北後、相手選手の握手を拒否して叱責を受けた。野球代表チームのカン・ペコは銅メダル決定戦で敗色が濃くなると、ダッグアウトに身を寄りかかったまま、ガムを噛む姿が中継画面に捕えられて指摘を受けた。

出典：<https://n.news.naver.com/article/005/0001462976>

04 ニュース 1 2021. 08. 08

「アーチェリーでなくとも多いね」...

現代車グループ、スポーツの発展の「隠れた助力者」

「2020 東京オリンピック大会」で金メダル 4 個を占め神話となった大韓民国アーチェリー代表チームの後ろに 37 年間、大韓民国アーチェリーをサポートした現代車グループがあった。



現代車グループは、1985年に鄭夢九名誉会長が大韓アーチェリー協会会長に就任して以降、今年アーチェリー協会会長に再選任されたチョン・ウィソン会長までアーチェリーの支援を惜しまなかった。

現代車グループのスポーツ後援はアーチェリーだけではない。8日、業界によると現代自動車グループはアーチェリーをはじめ、サッカー、テニス、ゴルフ、モータースポーツなどを後援している。

オリンピックで金メダル4個をさらったアーチェリーの場合には、1985年のアーチェリー協会を後援し縁を結んだ。体育団体で最初にスポーツの科学化を推進しており、最高レベルの機器を支援して実力向上に寄与したという評価だ。

ここで、現代モータース女子アーチェリー団と現代製鉄男子アーチェリー団は韓国アーチェリーの^{はり}梁の役割を正確にやり遂げている。現代自動車は150カ国が加入しているWAF（世界アーチェリー協会）が開催するアーチェリーワールドカップのタイトルスポンサーでもある。

1999年からは世界サッカー連盟（FIFA）、欧州サッカー連盟（UEFA）と手を握った。2002年韓日ワールドカップ、2006年のドイツW杯を現代自動車が公式後援し、2010年南アフリカワールドカップからギアと共同で後援している。2022カタールワールドカップでも公式スポンサーとして参加する。

UEFAヨーロッパリーグにはギアが自動車部門公式パートナーとして2021年までスポンサーシップを進行する。現代車は大韓民国サッカー国家代表チームと大韓サッカー協会の公式スポンサーとして活動中だ。自動車会社らしく世界的なモータースポーツ大会であるワールドラリーチャンピオンシップ（WRC）にも2014年から毎年参加している。2019年にはWRC参加6年ぶりにメーカー部門総合優勝を占めた。

また、国内のモータースポーツの発展のためにワンメイクレースである「現代アバンテカップシリーズ」を開催し、一般人を対象に運転の基本技と楽しさを教えてくれる「現代ドライビングアカデミー」も運営している。

ギアは2002年から世界4大グランドスラムテニス大会の一つである全豪オープン公式スポンサーに出た。特に2004年、負傷で停滞していたラファエル・ナダルを後援しスーパースターにした。ナダルはドイツで行われた男子プロテニス（ATP）ツアーメルセデス・カップで優勝した後、副賞のベンツスポーツカーを受けては、「ギア車ではありませんが、良い車」とギアへの愛情を表わすこともした。

ジェネシスブランドは2017年から米国PGAツアー「ジェネシスオープン」を後援しており、ヨーロッパで最も権威のあるゴルフ大会の一つである「スコティッシュオープン」も公式後援することを決定した。スコティッシュオープンは2022年大会から正式大会名が「ジェネシススコティッシュオープン」に変更される。

また、現代自動車は2011年から、米国PGA後援を通じて活発なマーケティング活動を続けており、2015年から米国プロフットボールリーグであるNFLの自動車部門公式スポンサーとして活動している。また、エクストリームスポーツクラッシュドアイスを後援する。ギアは米国プロバスケットボールリーグであるNBAと韓国プロ野球協会（KBO）を後援している。

ある業界関係者は「現代車グループがスポーツマーケティングを通じて宣伝効果を十分に享受している」とし「スポーツ底辺拡大はもちろん、現代自動車販売にも積極的につながってウィン - ウィン（Win-Win）効果」だと述べた。

出典：<https://n.news.naver.com/article/421/0005528835>

「マナーが人を作る」東京オリンピック飾ったスポーツ精神



論議も多く問題も多かった2020東京オリンピック、あとは仕上げただけだ。新型コロナウイルス感染症（コロナ19）拡散と安全の問題、外交論議が重なり「オリンピックボイコット」の要求が殺到するなど、出発から不安なオリンピックだった。

しかし、5年の間に血と汗を流して準備した選手たちには放棄することができない舞台だった。代わりに選手たちは17日間、国民を笑って泣かせて感動をプレゼントした。何よりも選手たちが見せてくれたスポーツ精神はオリンピックの意味を振り返ることができる機会であった。公正な競争のために最善を尽くし、敗北に見事に承服した世界各国の選手たちが見せてくれたマナーをまとめてみた。

暖かいマナーで人々の心をつかんだ「ブレッド姉さん」金ヨンギョン

国際バレーボール連盟が「10億人に1人出る選手」と絶賛したバレーボール女帝金ヨンギョンは試合に出るたびにスポットライトを浴びた。ニックネーム「食パン姉さん」は現在、「ブレッド姉さん」として全世界に広がっていった。（訳注：2016リオオリンピックで自分のアタックが失敗したときに独り言（悪い言葉）を発したが、画面で見た人が食パン（シクパン）と言ったように見えたことが最初）

金ヨンギョンは、競技力はもちろんマナーも最高の選手として面貌を見せた。4日、東京有明アリーナで行われた女子バレーボール準々決勝トルコとの試合でハミドアルシ主審の釈然としない判定が続くと強く抗議した。これでレッドカードを受けたが、ややもすると試合の雰囲気は崩れて選手たちの士気が低下すると見て代表して申し出たものだった。

しかし試合が終わった後、金ヨンギョンはワールドクラスと呼ばれる理由を証明した。彼女は試合運営陣席に近付いてアルシ審判に握手をした。あの時、自分が抗議するしかなかった理由をじっくり説明して誤解を解き、二人は軽いいたずらっぽい笑顔を浮かべた。

金ヨンギョンのマナーは競技場の外でより輝いた。彼女は、独自の弁当提供に対する日本の言いがかりに苦しんでいた給食支援センター栄養士も丁寧に対応した。ハン・ジョンスク給食支援センター栄養士は先月22日、支援センターの現場を公開したMBN YouTubeチャンネルのオンマイクインタビューで金ヨンギョンから受信したカカオトークのメッセージを公開した。

金ヨンギョンがある栄養士に「私達今、練習終わりました。お弁当は非常に美味しく食べています。食べて力が出ます」と感謝の文字を送った。ある栄養士はこれに「給食支援に出ると多くの困難がありますが、選手たちの“力になる”という文字メッセージはとても嬉しい」と語った。

「美しい敗者」趙グハムのマナーに日本でも絶賛

勝者ではなく敗者が見せてくれたスポーツ精神は、オリンピックを見守った多くの人々の胸をキュンとした。柔道の趙グハムが見せてくれたマナーに世界は絶賛を送った。趙グハムは先月29日、東京武道館で行われた柔道男子100kg決勝戦で相手である日本のアロン・ウルフと延長戦まで行った末に惜しくも金メダルを逃した。しかし趙グハムは、勝者であるウルフの手をさっとあげ、指で彼を示した。

趙グハムは唯一オリンピックと縁がない不運のアイコンと呼ばれた。しかし、彼は悩み苦しんだ表現をしていなかった。試合が終わった後、明るく笑って「勝利できるという自信もあったが、相手が強かった。

敗北を認める」とし「再び起きてチャンピオンの座に挑戦する。パリオリンピックに向かう動機になった」と話した。

世界ランキング2位のポルトガルのジョルジ・フォンセカとあつた準決勝では左手が痙攣したフォンセカのために待ち、左手の代わりに袖を取って配慮した。趙グハムは勝利するや、申し訳ない気持ちで涙を流し、フォンセカは趙グハムを抱きしめた。

日本人も趙グハムのマナーに拍手を惜しまなかった。趙グハムとウルフの試合を見守った日本のネチズンたちはツイッターに「これこそ真のスポーツマンシップの標本」「お互いに尊敬を表わす素晴らしいオリンピック」「今回のオリンピックの名場面」と褒め称えた。

ムン・ジェイン大統領も先月30日、社会関係網サービス（SNS）フェイスブックに「趙選手のマナーまで輝いた試合」とし「国民に大きな喜びをプレゼントしてくれてありがとう」というお祝い文を載せた。

テコンドーイデフン「勝者おめでとう与えるのが選手の道理」

敗者が勝者を祝う美しい場面は格闘種目で特にたくさん出てきた。テコンドーでは李デフンと李ダビンとも勝者に親指を立てた。韓国のテコンドー看板李デフンは先月25日、千葉・幕張メッセホールAで行われた男子68kg級銅メダル決定戦で中国のチャウサイに敗れた。2012 ロンドンオリンピックから3回連続オリンピックに出場した李デフンがメダルを取れなかったのは今回が初めてで異変だった。しかし李デフンはチャウサイに近づいて親指を立てた。

さらに彼が2016 リオオリンピックの時見せたマナーも思い起こされた。李デフンは当時68kg級準々決勝でヨルダンのアーマド・アブガウシに負け、準決勝進出に失敗したが、試合が終わった後、アブガウシの手をさっとあげた。敗者復活戦の末、銅メダルを首にかけた李デフンはインタビューで、「勝者の喜びを最大化するのが選手として必要な道理であり礼儀」と、自分が勝者を祝う理由を説明した。

李ダビンは先月27日、同じ競技場で行われた女子67kg超級決勝でセルビアのミリチャ・マンディッチに敗れ銀メダルを取った。李ダビンは敗れたが笑顔を浮かべてマンディッチに向かって親指を立て、金メダル感マナーを披露した。マンディッチも李ダビンのマナーに礼儀をわきまえていた。

フェンシング選手たちが見せたマナーも目を引いた。崔インジョン、ガン・ヨンミ、ソン・セラ、李ヘインで構成された女子エペ代表は先月27日、幕張メッセで開催された団体戦決勝でエストニアに惜敗し、銀メダルを首にかけた。

この日の試合3回戦に気持ちを示したソン・セラとエストニアのエリカキルファーのマナーは、視聴者を驚かせた。キルファーが攻撃をしようとしたとき足がギックリとなり、ソン・セラは維持時間を与えようと攻撃を止めて試合中止を要請した。

キルファーもマナーとしてソン・セラに借りを返した。ソン・セラが攻撃の間にバランスを失って競技場の外に向かって体が傾いたとき、キルファーはソン・セラを掴みながらバランスをとることができるよう手助けした。

韓国選手たちをいたわった外国人選手たち

外国選手たちも素敵なマナーで東京オリンピックを輝かせた。ニュージーランドのサッカーチームは、先月31日、茨城鹿島スタジアムで行われた日本との準々決勝でPK戦まで行ったが敗れた。

ところが、ニュージーランドの代表チームは、むしろ「日本に感謝している」というメッセージを残した。彼らはロッカールームをきれいに掃除した後、ホワイトボードに「鹿島と日本のおもてなしに感謝し

ます。私たちは、日本では非常に良い時間を過ごした」とし「日本と日本サッカー協会の幸運を祈る」と書いた。英語はもちろん、日本語も使いながらオリンピック開催国に礼儀を示した。

日本代表チームの中山ユタは1日、インスタグラムにニュージーランドの選手たちが残したホワイトボードメッセージとロッカールームの写真を上げた。それとともに「日本に来た外国人選手が日本人のおもてなしに感謝する姿を見ると胸がいっぱい誇らしい」と答えた。

ニュージーランドのサッカーチームは、韓国にも素敵なマナーを見せた。先月25日、グループリーグ第1戦で韓国はニュージーランドに敗れた。試合が終わった後、ニュージーランドのクリスウッドは李ドンギョンに近付いて握手を求めたが、李ドンギョンがウッドの手をきっぱりと拒否した。

しかしウッドは、ニュージーランドのメディアとのインタビューで、「李ドンギョンは（試合に負けて）失望していたが、その状況については全く心配することはない。全く気にならない」とし「コロナ19で注意していた状況だった」と、むしろ李ドンギョンをいたわった。

「オリンピックポシレギーズ（訳注：ポシレギは可愛い子ちゃんのような意味らしい）」の一人、バドミントン代表アン・セヨン（19）は、中国選手にスポーツマナーを学んだ。先月30日、東京武蔵野の森スポーツプラザで行われたバドミントン女子シングルス準々決勝でアン・セヨンは世界ランキング2位の中国のチェン・ユーフェイに敗れ4強進出の夢を諦めなければならなかった。

アン・セヨンは全身を投げ出す闘魂を発揮したが、2ゲーム終盤にボールを受けて足首をくじいた。コートに寝転がり痛そうにしているとチェン・ユーフェイは、床に落ちたラケットをアン・セウンの手に握らせながら大丈夫かと確かめた。

スポーツ精神自ら実践した百戦のつわもの

体力的劣勢を乗り越えスポーツ精神が何なのかを示した選手たちもいる。“ポシレギーズ”の“ひよこちゃん”シン・ユビン（17）に敗れたルクセンブルクの“卓球おばさん”ニシアレン（58）が主人公だ。1991年ルクセンブルク国籍を取得した中国国家代表出身で、2000年のシドニーオリンピックから5回連続オリンピックに出場した。オリンピック卓球史上歴代最高齢の百戦錬磨でシン・ユビンより41歳も上だ。ニシアレンは先月25日、シン・ユビンと試合を終えた後、いくつかのマスコミとのインタビューで、「年齢は数字に過ぎない。私は試合で勝つことができる限り私はこの場に立つし、最善を尽くす」と述べた。乗馬の馬場馬術に出場した1954年生まれの豪州のメアリー・ハナも「年齢は数字に過ぎない」を自ら見せてくれた。韓国で言えば喜寿を控えた年齢でも挑戦を止めなかった。オリンピック出場選手のうち最高齢で、東京まで六回オリンピックの舞台に立った。彼女は「私の体が完全に壊れない限り、パリオリンピックに出場したい」と覚悟を固めた。

相手嘲笑し、汚れた後ろ姿を見られた選手たちも

スポーツ精神でオリンピックを華やかに輝かせた選手たちがいれば、逆に彼らの努力に水を差す選手も多かった。自分の試合が終わったと、スポーツ精神に反する行動を見せた。

香港のサウスチャイナ・モーニングポスト（SCMP）は3日、オーストラリア代表選手の中には選手村の部屋の壁に穴をあけたり嘔吐物を残したりして去ったと伝えた。また、オーストラリアのラグビー・サッカー代表選手たちは帰国の飛行機で酒に酔って暴れ、機内トイレで吐いた後、きれいにしなかったとオーストラリアのメディアが報じた。

メキシコのソフトボールチームは、選手村を離れてユニフォームと運動靴、グローブを捨てた。メキシコのあるボクシング選手が先月 29 日、ゴミ箱に捨てられた彼らのユニフォームの写真を Twitter に上げて知られた。非難が殺到するとメキシコのソフトボールチームは SNS を介して謝罪文を上げた。

中国の選手と中国メディアは、今回のオリンピックで世界を失望させた。先月 27 日、東京武蔵野の森総合スポーツプラザで開かれたバドミントン女子ダブルスグループリーグ D 組第 3 戦で金ソヨン - ゴン・ヒョン選手と競った中国のチェン・チンチェン - ジャ・イーファン選手の試合がそうだった。

チェン・チンチェンは試合中、試合が終わった後も「ウォーチャオ（我操）」と大きく叫んだ。気合いの声であると思ったが、英語で「F×××」に該当するひどい中国語の悪口をしたものである。台湾のインターネットユーザーはチェン・チンチェンがウォーチャオのほか、母を侮辱する悪口を言ったとし「試合を通して悪口がいっぱいだった」と指摘した。

しかし誤るところか、中国メディアは金ヨンギョンを巻き込んで居直りの態度を見せた。中国のメディアはリオオリンピックバレーボール競技でキム・ヨンギョンが悪口を言ったことを指摘し、「韓国人は金ヨンギョンが悪口を言ったのはどう思うか」と問い詰めた。

日本のサーフィン選手五十嵐カノアは自分とあたったブラジルのガブリエルメディナをあからさまに冷やかした。ブラジルのファンが五十嵐の勝利にホームアドバンテージが作用したと批判すると、五十嵐は先月 28 日、ツイッターに「騒げ、泣け、私は幸せ。ははは」という文を残した。また、ブラジルの母国語であるポルトガル語で皮肉文も残した。

五十嵐は騒ぎが大きくなると、一日で「こらえ性がなかった」と謝罪したが、彼の取った銀メダルの光が色あせた後だった。

出典：<https://n.news.naver.com/article/469/0000622374>

06 聯合ニュース 2021.08.06

金ヨンギョンからジ・ソヨンまで... スポーツの勢力図を変えた女性たちの話

男性の専有物とされていたスポーツ、その先入観に対抗して闘いスポーツの歴史に一線を画した女性代表の話がドキュメンタリーとして作られる。

KBS 1TV「ドキュメンタリーインサイト」は、来る 12 日に放送される「ドキュメンタリー国家代表」で金ヨンギョン、金オナ、南ヒョンヒ、朴セリ、ジョン・ユイン、チ・ソヨンなど女性国家代表 6 人が限界を克服してきた過程をたどると 6 日明らかにした。「ドキュメンタリーインサイト」が「ドキュメンタリーコメディアン」、「ドキュメンタリーユン・ヨジョン」に続き三番目にお目見えする女性アーカイブシリーズだ。

全世界的に絶賛を受けている女子バレーボール国家代表金ヨンギョンは 2005 年にプロの舞台にデビューした後 17 年間、スポーツ人として歩んできた道を虚心坦懐に打ち明ける。男子バレーボールの人気に隠れて空の競技場で試合を繰り返してきた彼女は、すべての国民が 2020 東京オリンピックで韓国女子バレーボールに注目するようにした。当然のことに疑問を提起して韓国女子バレーボールの新しい歴史を記した彼女の話聞いてみる。

韓国女子サッカー選手で最初にイングランドリーグに進出し、名門球団チェルシーFC ウーマンのエースとして活躍中のチ・ソヨンは、女子サッカーに対する差別と偏見を破るために貢献してきた。男性と女性を

通じて韓国最年少でAマッチデビュー、最年少でAマッチ得点、Aマッチ最多ゴールを記録した彼女は、女子選手が男子選手と同じ環境条件でプレーできるようにしなければならないという声を出している。朴セリは選手時代、韓国ゴルフを不毛地からゴルフ大国に作りあげ、韓国女子プロゴルフ（KLPGA）の性別賞金格差を逆転させた。監督になった今では、最初のオリンピック2回連続の女性国家代表監督を引き受け、男性スポーツ人に傾いた芸能の重心を少しずつ変えている。

他にも「ドキュメンタリー国家代表」ではハンドボール界のエース金オナ、大韓民国最初の女性フェンシングメダリスト南ヒョンヒ、筋肉質の体を堂々と表わした水泳選手ジョン・ユインが聞かせてくれる話も入れられる。

KBS 1TV 12日夜10時放送。

出典：<https://n.news.naver.com/article/001/0012582258>

07 ハンギョレ 2021.08.04

たった2人...女性アナウンサー多くても「スポーツキャスター」いない理由



2人。

東京オリンピック中継に投入された地上波3社の女性キャスターの数だ。〈韓国放送〉(KBS)は15人のうち1人(朴チウォンアナウンサー)、〈文化放送〉(MBC)は、10人のうち1人(金チョロンアナウンサー)だけ女性である。〈エスピーエス〉(SBS)

は、8人すべて男性である。

女性キャスターの「失踪」は今回の五輪でのみ現れた現象ではない。韓国両性平等教育振興院とソウルYWCAが2018年の平昌冬季オリンピック中継放送325件を分析したところ、女性キャスターが中継した試合は全体の7%に過ぎなかった。解説者を含む全体中継陣性比も女性124人(24.8%)、男性375人(75.2%)で、男性が3倍多かった。

スポーツキャスターは解説者と一緒に試合の主要観戦ポイントを指摘してくれて、選手や相手チームの幅広い情報を伝達し、カメラにまだ取れていない現場の状況を生き生きと聞かせるなどの役割をする。一般的にアナウンサーが務めるのは、これらの長年何度も中継の経験を積んでスポーツ分野の専門知識を育てる。

国内スポーツキャスターの絶対多数は男性である。女性キャスターがいなかったのではないのに、種目はフィギュアスケート、新体操などに限定されている場合が多かった。2002年ソルトレイクシティ冬季五輪の時、女性アナウンサーの中で初めてフィギュアとカーリング種目キャスターとして出たSBSユ・ヨンミアアナウンサー(定年退職)、2014年仁川アジア競技大会時、新体操中継を引き受けたKBSオ・ジョンヨンアナウンサー(現在フリーランス)が代表的である。

女性キャスターがワールドカップ、オリンピックなどの国際試合でサッカーや野球のような種目を引き受けた例は稀である。匿名を要求したある放送局のアナウンサーは「女性アナウンサーもキャスターを望むなら言ってくれという雰囲気は社内に造成されている。ただし種目の区分はある。例えば、サッカー・野球は男性が、リズム体操は女性が務める式である。伝統的に分けられたこのような種目区分を破ってみ

よとする女性アナウンサーは多くはない」とした。このアナウンサーは△男性中心のスポーツコミュニティを評価することの負担△ロールモデルの不在を女性スポーツキャスター支援が少ない理由に挙げた。キャスターがいなくても、スポーツ分野で女性放送人が活躍していないわけではない。地上波3社のスポーツチャンネルでは女性アナウンサーが大勢布陣されている。しかし、中継を任せるのではなく、スタジオでその日のハイライトを伝えたり、競技場での選手のインタビューを進行する役割を担ったりする機会が多い。スポーツ放送の領域でも一種の性別業務分離が現れているものだ。

これと関連して、ソン・ジョンファ前スポーツアナウンサー（建国大体育学科博士）は、2013年に前・現職スポーツアナウンサー4人がなぜスポーツアナウンサーに入門し、どんな差別を経験したのかななどを深層インタビューした結果を論文に書いた。

ソン前アナウンサーと論文に登場する女性アナウンサーは、スポーツ中継の分野で男性と女性の間に関心の不均衡が存在するとした。

「男性アナウンサーは野球中継のキャスターに投入されますが、女性アナウンサーは野球場にレポーターとしてのみ投入される。しかし、野球場レポーターとしてのキャリアが積もったからといって、女性アナウンサーが野球中継のキャスターに投入されることは絶対になかった。」

「男性のスポーツキャスターは入社1〜2年目にメイン種目キャスターの機会が訪れる。しかし、女性キャスターは6〜7年目ぐらいになってメイン種目の機会が訪れてきて、その機会を逃すと永久にメイン種目に足を踏み入れられないシステムである。男性は1〜2シーズンを見て持続可能性を判断するが、一度の機会にすべてのものを見せなければなら女性スポーツキャスターは機会の面で差別が明らかにある。」

雇用構造も影響を与えていると論文は指摘した。女性のスポーツアナウンサーは短期契約職として採用される場合が多く、専門性を高めるのに十分な教育も機会も保証されないということだ。

「短期契約がほとんどの女性スポーツアナウンサーは、専門的なスポーツの知識を勉強する時間もなく、その部分にしっかりと教育を受けられる状況でもない。そのためか、スポーツキャスターになろうとする考えが全くない女性アナウンサーも多いようだ。」

男性は正規職に、女性は契約職になる放送の性差別的雇用慣行はすでに国家人権委員会の決定でも明らかになったことがある。人権委は昨年MBC地域全体の系列会社16ヶ所を職権調査したところ、男性アナウンサーは全体の82.9%が正社員であり、女性アナウンサーの正規職の割合は25%にとどまった。

金スアソウルメディア情報学科教授（女性学協同課程）は「英国Ofcom（放送通信規制機関）は毎年、地上波放送の多様性報告書を出すほど放送の多様性の確保を重視する。これが私たちの放送でも前提にならないといけない。放送局の既存のキャスター教育は暗黙的に知識を伝授する方式で、男性を中心に伝授されている可能性がある。これを改善しなければ今後も同じような状況が繰り返されるだろう」と指摘した。平昌冬季オリンピック中継放送監視を担当した金イェリソウルYWCA女性運動局部長は「話者が特別に性別に集中されると、その性別が持つ価値偏見が発火する可能性が大きいという点で中継陣の性比がある程度のバランスをなすことが望ましい」と述べた。

遅いけれど外国は変化する傾向にある。先月20日、米国のメジャーリーグはオリオールズ - タンパベイ・レイズ戦の中継陣（キャスター、解説、レポーターなど）5人全員を女性にし、スポーツ界ガラスの天井をもう一度破ったという評価を受けた。

出典：<https://n.news.naver.com/article/028/0002555331>

08 週間スポーツ関連ニュース

[スポーツコメント廃止1年]罰金80万ウォンだけ...今はそれでもく中>

<https://n.news.naver.com/article/277/0004949838>

[東京決算]金3個→21個、5年ぶりに開いた韓 - 日エリートスポーツ格差、これをホームアドバンテージだけで説明できるか

<https://n.news.naver.com/sports/tokyo2020/article/076/0003764679>

[東京オリンピック]韓国スポーツの未来明らかにした10代のスターたち

<https://n.news.naver.com/article/018/0005005614>

[オリンピック]スポーツクライミング旭日旗の形状論議...金ジャイン"謝罪しなければ" (総合)

<https://n.news.naver.com/article/001/0012586573>

【今日と明日/ヤン・ジョング】東京オリンピックとスポーツ先進国

<https://n.news.naver.com/article/020/0003374561>

ムン大統領、安山選手二回目の慰労 "スポーツ、いくつかの理由でも差別ダメ"

<https://n.news.naver.com/article/469/0000621359>

[オリンピック]プーチン "スポーツ政治化の試みは無意味...競技力で証明"

<https://n.news.naver.com/article/001/0012584071>

[金トギュンのスポーツ経済学] 2020 東京オリンピックが残したメダルより重要な成果

<https://m.sporbiz.co.kr/article/20210809570085>

李ギフン会長「韓スポーツ一段階成長した姿見せてくれた」[東京オリンピック]

<https://n.news.naver.com/article/079/0003539418>

目標達成に失敗・得意種目の不振...それでも韓国スポーツの希望見た

<https://n.news.naver.com/article/016/0001872075>

「メダルの数は少なかったが、スポーツの新しい価値を確認した大会」[東京ライブ]

<https://n.news.naver.com/sports/tokyo2020/article/144/0000754351>

体育市民連帯オンライン 定期後援案内

万人が楽しむスポーツ世界、体育市民連帯が共に作ります。
私達連帯の活動に積極的に賛同していただくことを願います。

私たち体育市民連帯は体育人の権益保護と
福祉実現のために努力しています。
皆さんの小さな心づかいがより良い世界のための
体育市民連帯活動に強固な土台となります。
体育市民連帯会員として力になろうと
される方は下の口座に後援お願いします。

国民銀行 086601-04-095940

口座名義：体育市民連帯

オンライン定期後援は下のリンクを通じてホームページからできます。

多くの関心をお願いします。

INFOMATION

体育市民連帯 ソウル市 瑞草区 瑞草洞 孝寧路 230 スンジョンビル 407 号

Tel : 02-2279-8999、E-mail : sports-cm@hanmail.net ホームページ : <http://www.sportscm.org/>

日本語訳：佐藤好行 新日本スポーツ連盟 国際活動局 韓国担当 jrlfep@gmail.com